

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業支援課
 担当名：技術支援担当
 内線：3777

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B23	次世代型ものづくり製品開発支援事業			一般会計	商工費	商工業費	産業技術総合センター費	産業技術総合センター運営費	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	なし				戦略項目 07 世界水準の中小企業		
							分野施策 030101 がんばる中小企業の支援		
<p>1 事業の概要</p> <p>新製品開発による新規ビジネスを展開しようとする企業の支援を行うため、外部専門家を「製品開発プロデューサー」として産業技術総合センターに配置し、商品企画から試作開発、販路開拓までを一気通貫支援し“売れるものづくり”を推進する。</p> <p>支援の概要は、商品企画や製品開発などの経験豊富な外部専門家の知見、産業技術総合センターのシーズや3D関連機器・技術等を活用し、中小企業の新たなビジネス展開のための新製品開発を進めるものである。</p> <p>(1) 製品開発支援事業費 7,300千円 専門家等による指導回数の効率化に伴う減</p> <p>(2) 試作支援事業費 4,215千円 試作開発に係る消耗品費等の効率的執行に伴う減</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容： 地域経済を牽引するリーディングカンパニーを輩出し、次世代産業分野への参入促進、新産業の創出を図るため、商品企画や製品開発などの経験豊富な外部専門家「製品開発プロデューサー」の知見、産業技術総合センターのシーズや3D関連機器・技術等を活用し、新製品開発を目指す企業に対し製品開発プロデューサーによる商品化計画から製品化・販路開拓までの一気通貫支援を実施する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 製品開発支援 24,013千円</p> <p>(7) 「製品開発プロデューサー」6名(新規4社、継続2社)、「販路開拓プロデューサー」1名の配置 20,653千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品開発プロデューサー、専門アドバイザーによる商品化計画から製品開発、販路開拓までのハンズオン支援。製品の販路開拓の支援のために「販路開拓プロデューサー」も配置する。 支援企業数：8社(平成26年度からの継続2社、新規4社、このほか職員による支援が新規2社) <p>(イ) 専門アドバイザーの活用(新規6社分、継続2社分) 3,360千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品開発プロデューサーの一元的な管理の下に、デザイナーや3D技術の専門家等による支援を行う。 <p>イ 試作支援支援 10,327千円 SAITECの持つシーズや設備(3Dプリンタ等)を活用した製品開発の迅速化・高度化・高精度化を支援</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>				<p>(3) 事業効果 地域経済を牽引するリーディングカンパニーを輩出することで、県内産業の底上げが図られる。</p>					
<p>3 地方財政措置の状況 地方交付税措置あり 産業技術総合センター費</p>				<p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 民間企業経験者等の外部専門人材の活用及び職員のマンパワーを活用することにより、開発から販売まで一気通貫による支援で速やかに事業効果を発揮することが可能になる。</p>					
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円</p>				<p>(5) 補正予算の概要</p> <p>(1) 製品開発支援事業費：専門家等による指導回数の効率化を図ったことに伴う報償費等の減額</p> <p>(2) 試作支援事業費：試作開発に係る消耗品費等の効率的執行に伴う減額</p>					
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		繰入金							
決定額	11,515	11,515						22,825	
現計額	34,340	34,340							